クローバーだより

2022 年 11 月１１日
名古屋柳城短期大学附属
三好丘聖マーガレット幼稚園
林　知子

子どもが発する「甘え」「大好き」のサイン　PARTⅡ

前号でご紹介した８つの“子どもが発する「甘え」「大好き」のサイン”についてお伝えしていきます。

1，見て見て！

自分が描いた絵やブロックで作った作品を「ねぇママ、見て見て！」これは認めてもらいたい！褒めてもらいたい！の合図です。「ここの部分は何？」など具体的にコメントを付けて認めていきましょう！
＊「上手」は褒める時にはあまり使わないようにしましょう。

2．〇〇やって！〇〇して！

「ねぇパパ、お馬やって！」「ママボタンつけて！」というのは甘えのサインです。毎回それに応えるのは大変ですが、ちょっと家事の手を止めてやってあげてください。

3．テレビの面白い場面でふりむく

楽しいことや面白いことを共有したくて、「ママも笑っているかな？」「パパも楽しいかな？」と親の表情を確認しているのです。子どもが振り返ったら、にっこりと笑い返してあげてくださいね。楽しい気持ちを共有できるということは子どもにとって最高の充足感に繋がります。

4．これなに？なんで？

「なんで太陽は光っているの？」など、子どもはいつでも好奇心旺盛。子どもは自分が嫌いな人に対して聞きません。大好きなママとパパにだから聞くのです。分からなことをそのままにする悪い癖をつけないためにも、なるべくその場で子どもの疑問を解決できるようにしましょう

5．親の好きな物を好きになる

子ども自身が好きというよりはママとパパの笑顔が見たいから一生懸命に見つけて報告してくれているわけです。些細なことでも喜びや感動を一緒に感じて、感情を共有したいんですよね。出来る限り、一緒に笑い、一緒に驚き、一緒に怒ったりして子どもと感情を共有していきましょう。

6．叩く、ダダをこねる

こんな時は、冷たくあしらったり突き放したりして感情的に怒っても逆効果です。スキンシップをとりながら優しく言い聞かせ、冷静に諭してあげましょう。

7．わがままや文句を言う

子どもは嫌いな人にわがままや文句は言いません。「優しく甘えさせてもらいたい！」と思うからこそわがままを言うのです。

8．できたことが急にできなくなる

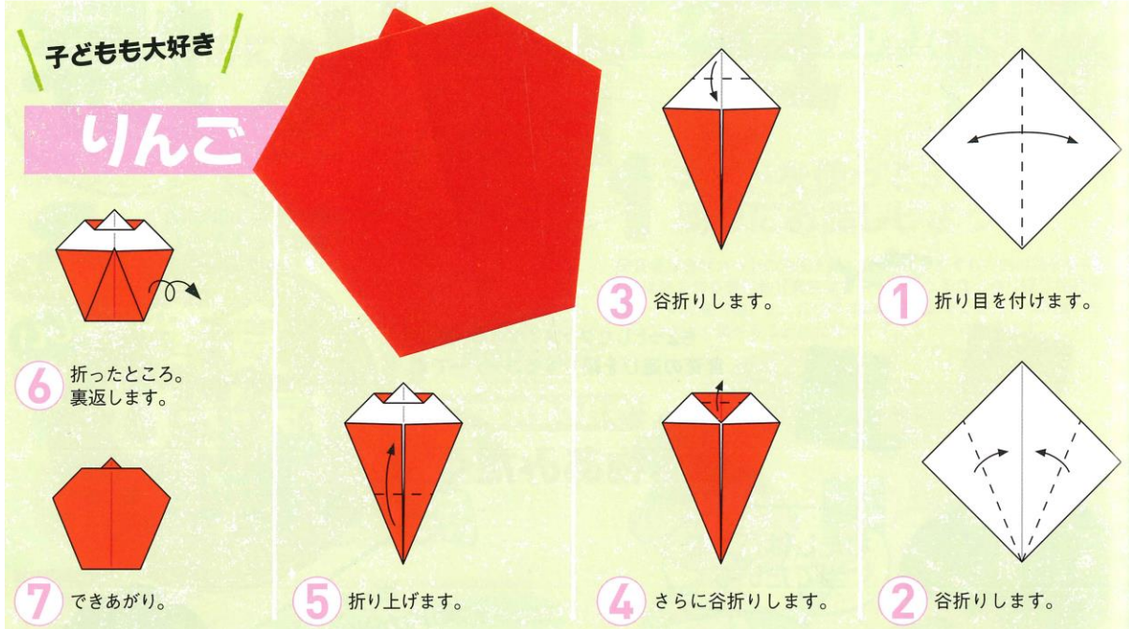
いつもは１人でできる事を、急にできなく（やらなく）なったりすることがあります。気を引いてスキンシップを求めているのです。なるべく応えてあげるようにしましょう

『甘え』と『甘やかし』の違いとは・・・

『甘え』　→子どもが自立に向かうための、愛に基づいた依存です。
つまり愛着関係です。子どもは、自分のことをしっかりと、いっぱい受け止めてもらえると、自分に自信がついていきます。それが、いろいろなことをやろうという気持ちにつながります。

『甘やかし』→子どもの自立を阻むもの。子どもを厳しく言い聞かせることなく、ワガママな行動をとっても許していることです。例えば、過干渉や、先回りをするなどです。これは、わがままになるだけでなく、社会生活に出た時に、本人がとても恥ずかしい思いをすることもあります。大人が十分気を付けて接しないと子どもの心が育ちません。

収穫の秋！　美味しいりんごはいかがですか？



＜子育て相談＞

自分の子育てにこれでいいのかな？と不安に思われた時、
こんな時どうしたらいいのと思われた時にお話にいらっしゃいませんか？
保育経験者がお話しさせていただきます。お電話で予約していただき、
ご都合の良い日を決めさせていただきます。
TEL　０５６１－３６－８３７３　　お電話お待ちしています